

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロフェッショナルダンス2	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	120時間
単位数	4単位			授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	井口雅仁/野中志乃		実務経験の有無・職種	有り：音楽プロダクション制作業務	
学習目的					
この科目では修了公演、イベント出演に伴うリハーサル、場当たり出演、本番などを通してダンスの技術はもちろんコンディション作り、スケジュールリングやコミュニケーション力などを学びます。					
到達目標					
この科目ではHIPHOP、OLD SCHOOL、HOUSE、JAZZ、バレエ、コンテンポラリーの各ジャンルの理解度を深め実演するとともにプロダンサーとしてのメンタリティー、マナーを学びます。					
教育方法等					
授業概要	実技を中心としたリハーサルおよびコミュニケーションアップの為のディスカッション、照明知識や舞台用語の知識などの習得を行います。振り入れから構成、場当たりから本番まで作品作りを実践的に学びます。				
注意点	担当講師の指示に従い振付けや構成の確認をして臨む事、怪我や病気の予防、スケジュールなどの自己管理をしっかりする事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	100%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	公演概要の把握・理解		担当講師の決定、イベント主旨、制作スケジュールを理解する		
2回	実践演習①		実習班ごとにHIPHOPの振付を確認する		
3回	実践演習②		実習班ごとにHIPHOPの立ち位置・構成を理解する		
4回	実践演習③		実習班ごとにHIPHOPのソロパートを含む演目全体の確認を行う		
5回	実践演習④		実習班ごとにHOUSEの振付を確認する		
6回	実践演習⑤		実習班ごとにHOUSEの立ち位置・構成を理解する		
7回	実践演習⑥		実習班ごとにHOUSEのソロパートを含む演目全体の確認を行う		
8回	実践演習⑦		実習班ごとにOLD SCHOOLの振付を確認する		
9回	実践演習⑧		実習班ごとにOLD SCHOOLの立ち位置・構成を理解する		
10回	実践演習⑨		実習班ごとにOLD SCHOOLのソロパートを含む演目全体の確認を行う		
11回	実践演習⑩		実習班ごとにJAZZの振付を確認する		
12回	実践演習⑪		実習班ごとにJAZZの立ち位置・構成を理解する		
13回	実践演習⑫		実習班ごとにJAZZのソロパートを含む演目全体の確認を行う		
14回	実践演習⑬		実習班ごとにバレエの振付を確認する		
15回	実践演習⑭		実習班ごとにバレエの立ち位置・構成を理解する		
授業計画（16回～30回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
16回	実践演習⑮		実習班ごとにバレエのソロパートを含む演目全体の確認を行う		
17回	実践演習⑯		実習班ごとにコンテンポラリーの振付を確認する		
18回	実践演習⑰		実習班ごとにコンテンポラリーの立ち位置・構成を理解する		
19回	実践演習⑱		実習班ごとにコンテンポラリーのソロパートを含む演目全体の確認を行う		
20回	実践演習⑲		コレオグラフィナンバーの振付けの確認を行う		
21回	実践演習⑳		コレオグラフィナンバーの立ち位置・構成の確認を行う		
22回	場当たり①		HIPHOP/HOUSE/OLD SCHOOL 実際の会場の広さを確認し、立ち位置・動きの大きさを修正する		
23回	場当たり②		JAZZ/バレエ/コンテンポラリー 実際の会場の広さを確認し、立ち位置・動きの大きさを修正する		
24回	会場演習①		場当たりで修正されたポイントを中心に反復練習を行う		
25回	通しリハーサル①		全体の構成を把握し、最後まで通して踊りきれるようにする		
26回	通しリハーサル②		前回の修正点を把握し、会場リハに向けてミスなく踊りきれるようにする		
27回	会場演習②		通しリハーサルで修正されたポイントを中心に反復練習を行う		
28回	照明合わせ		照明をつけ、構成・踊りに支障をきたさないよう会場全体の広さをとらえて踊る		
29回	照明場当たり・ゲネプロ		会場全体の広さ・照明・衣装替えを実際に行い、本番のスピード感を把握する		
30回	卒業公演発表		実践演習で得た技術・作品を発表する		